

# 平成23年度 神戸市立神港高等学校マネジメントプラン

神戸市立神港高等学校  
校長 岩井 英資

## 1. めざす学校像

次代の神戸を担う人材を育成するため、豊かな心と逞しい身体を育むとともに、各人の個性や資質に即した学習指導・進路指導を行い、生徒達の多様な夢の実現を目指す

- ※ キャリア教育による望ましい職業観の育成と、「分かる授業・確かな学力の定着」を推進し、生徒達の進路実現を目指す学校。
- ※ 思いやりの心や規範意識を持った明るく元気な生徒を育み、奉仕の精神や貢献活動への意欲・関心を培う学校。
- ※ 地域に根ざした学校として、情報発信や広報活動、連携事業等を積極的に行う学校。

## 2. 中期経営目標と中期行動計画

「目指す学校像」の実現をより確かなものとするため、中期経営目標と中期行動計画を策定する。

中期経営目標	中期行動計画
A. 授業改善に取り組むとともに、意欲的、自主的に学習する神港生を育成する。同時に生徒のニーズに応えうるよう進路指導の充実を図る。	(1) 新たな教育課程の実践に向け、「授業研究」・「教育環境改善」を中心に取り組み、「分かる授業・確かな学力の定着」に結び付ける。 (2) 普通科は、難関大学の入試に対応できる学力を培う。商業科・情報処理科は、専門性の高い知識・技術の習得と上位資格の取得をめざす。課外補習・勉強合宿を行い、学力向上や高次の技能習得を目指す。また、就職に関しては、企業開拓を積極的に行うと同時に、早期内定を目指す。
B. 社会規範やビジネスマナーを習得し、神港生としての誇りを持てる生徒を育成する。各部活動の近畿大会、全国大会出場をめざす。	(1) 社会規範や校則の遵守。 (2) あいさつ、ビジネスマナーの徹底。 (3) 部活動の活性化。全国大会への出場。 (4) ボランティア活動への参加。
C. 地域や保護者からの理解と協力を得るために、情報発信、他校種との連携などを通して、「開かれた学校づくり」をめざす。	(1) 学校PRの充実。 (2) 学校自己評価、保護者アンケート、授業アンケート、外部評価等の活用と公表。 (3) 小学校、中学校、大学等との連携事業の充実。

### 3. 平成23年度 重点目標と行動計画（取組内容）

重点目標	行動計画（取組内容）	評価指標
A（1） 学力向上のための 授業改善	① 教科研修実施 ・ 目標と指導と評価の一体化	・ 各学期に1回の実施継続 ・ 教科会の内容についての報告状況 ・ 評価方法の検討
	② 授業公開週間と研究会の充実 ・ 保護者、地域の参加	・ 全体研修会、授業公開の実施状況
	③ 授業規律の確立と生徒授業アンケート ・ 家庭学習確立のための手立て	・ 生徒授業アンケート 3課題（授業規律・家庭学習・自主学習）の指標改善：+10%改善 分かる授業についての評価
	④ 基本的な学力定着のための取り組みを実践し、学習習慣を確立する。	・ 学び直しの機会をつくる ・ 基礎学力の確認と学習の習慣付けを行う
A（2） 各科の特色を明確にし、学力、専門性の高い知識・技能の習得とともに新学習指導要領への対応を明確化する	① 普通科 ・ ソーラーコースの改善と活性化 ・ ブロードコース（理系）の定着 ・ ブロードコース（文系）の充実	・ ソーラーコースの中学校説明 ・ 教育課程への改善の反映 ・ 甲南大学協定校入試利用者増 ・ 大学進学希望者、模試受験年3回
	② 商業科 ・ 商業科のあるべき姿をさらに検討する ・ 習熟度別授業の研究	・ 基本計画策定への参加 ・ 全商簿記1級、日商簿記2級合格者状況 ・ 大学や専門学校との連携強化
	③ 情報処理科 ・ 国家試験情報処理技術者試験、午前免除制度への取組 ・ 集中セミナーの実施 ・ 資格取得の推進 ・ 小学校との連携事業を推進	・ 国家試験情報処理技術者試験合格者状況 ・ アンケート実施 ・ 資格取得状況 ・ 作成した成果物をHPに掲載
A（3） 進学指導における模試の有効活用。 就職指導における職業観の育成	① □ 進学模試の活用 ・ 生徒の意識意欲の向上 ・ 外部講師を導入 ・ 模試結果分析会の内容充実	・ 進路指導部による模試受験者に対する事前事後指導を毎回行う ・ 希望進路の実現80% アンケート実施 ・ 自己PR文の指導 ・ 外部講師の活用状況 ・ 教員の理解状況
	② 就職 進路ガイダンスの実施 ・ 生徒の意識意欲の向上 ・ 希望者の早期内定	・ 卒業生を囲む会の実施 ・ 100%の内定

重点目標	行動計画	評価指標
B（１） 規範意識を高め、 マナーの向上を図る	① 本物の価値観 ・生徒会が主体となった活動の実施 ・集会時における啓発活動 ・授業開始、終了時の指導推進 ・時間を守る(遅刻減少) ② 挨拶励行、登下校マナー指導 ③ ボランティア活動の充実	・職員室入退室のマナー指導100% ・生徒会による実施状況 ・アンケートの活用 ・遅刻統計 昨年比－10% ・学校関係者委員の評価 ・活動をHPに掲載
B（２） 部活動の活性化	① 部活動振興 ・顧問、担任との情報交換を密にし、部活動の入部率、参加率をあげる。 ・活動内容を充実、向上させる	・部活動入部状況 ・前年度より活動実績ワンランクアップ 例 ベスト4→準優勝
C（１） 中学校への広報活動の充実	① 中学校新聞へのタイムリーな記事の編集計画 ・中学校訪問 ・3学科および普通科複数志願制度について説明 ・マスコットキャラクターの活用	・年間5回程度配布 ・平成22年度の受検倍率を上回ることを目標 ・カンパッチの作成、配布500個
C（２） スクールマネジメントの充実と情報発信	① 学校評価、外部評価、保護者アンケート、授業アンケート、卒業生アンケートの実施と結果公表 ② P T A 携帯メールー斉送信システムの活用	・ホームページの更新月1回を目標 ・保護者アンケートの回収率80%を目標 ・タイムリーな情報の発信回数